まちづくりを楽しむ基礎講座（その2）
公共空間の活用によるまちづくり

「イルミネーション等による公共空間の活用

～　イタリア他と日本の事例を参考に　～

市民まちづくり会議・むさしの
篠原　二三夫

1. イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

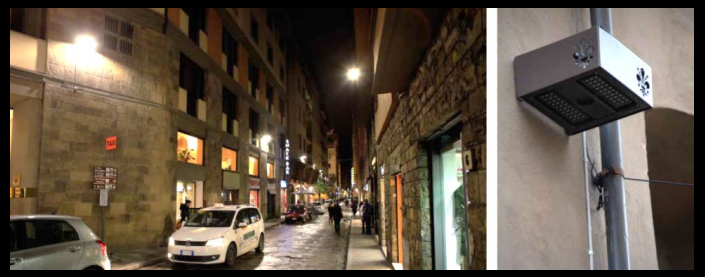
- 街並みやランドマーク、自然そのものがある程度に魅力的な場合は、既存の公共空間における景観美や対象の魅力をさらに高める力をもつ。一時的にせよ、都市間競合の中で、都市レベルの魅力を高めることができる。 → 魅力的ではない空間はそれなりに改善する。

→ 優れた景観と自然なライティングを行うフィレンツェ

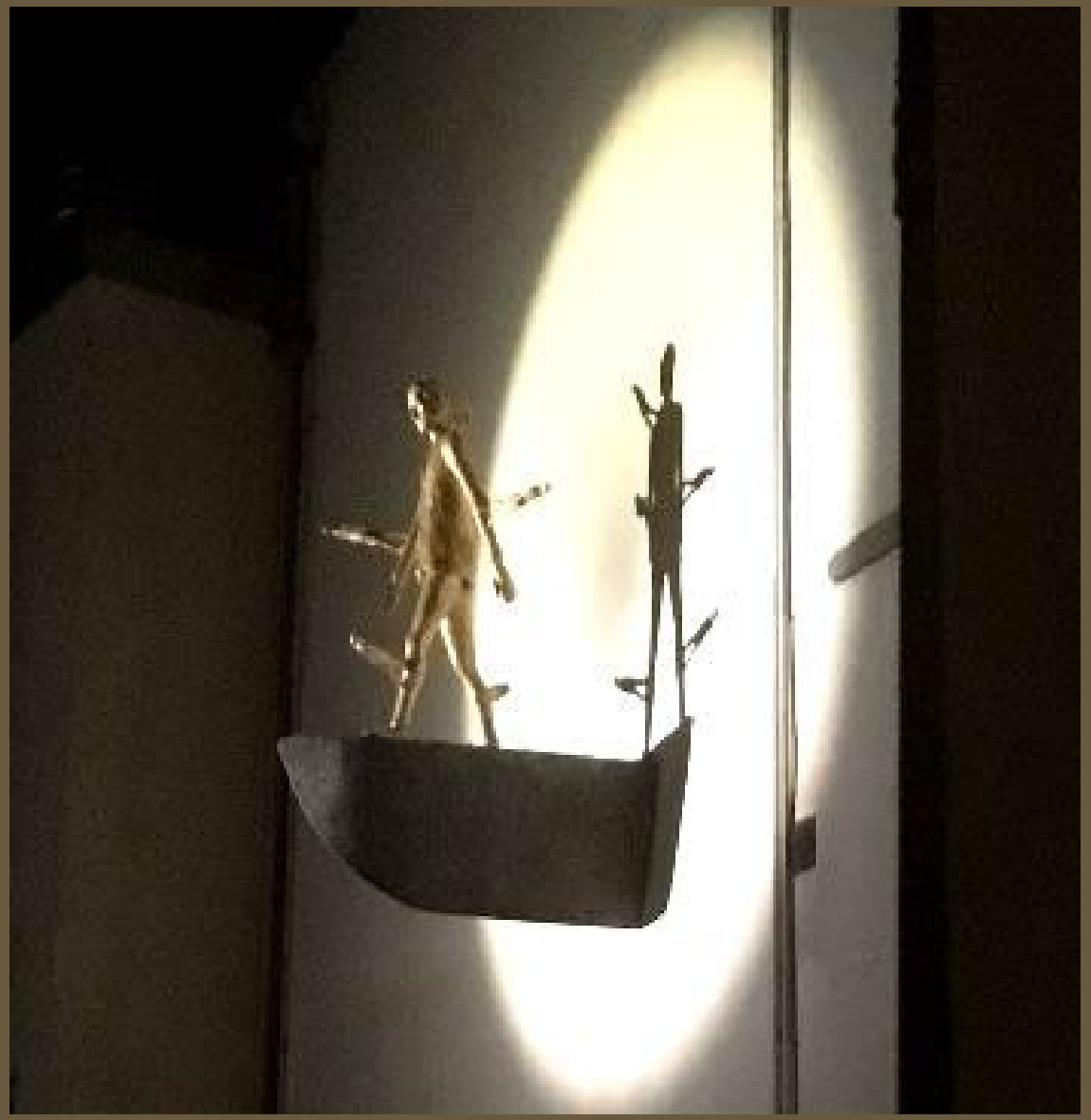
→ フィレンツェの魅力を更に高める F-Light祭

景観美を保つライティングとフィレンツェ F-LIGHT祭

SILFI LIGHTS OF FLORENCE MOSTRA.MOV



戻る:　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長



戻る: イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

フィレンツェの魅力を高める
F-LIGHT祭

ランツィの回廊

通訳さんSILFI　クラウディオさん

ヴェッキオ宮殿

ネプチューン像

Flight 2017 - trailer

Luminescence in Florence

シニョリーア広場ネプチューン像

戻る：　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

THE FAKE FACTORY FIRENZE LIGHT FESTIVAL 2012.mov

BASILICA DI SANTO SPIRITO - FIRENZE

戻る: イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

- 一方、イルミネーションやプロジェクション・マッピングは、街並みが景観に乏しくても、夕暮れから夜間は、街並みの喧噪がかくれてしまう中で、ライトアップされた対象の魅力や美しさを強く引き出したり（昼間は見いだせなかった部分につき）、FAKE（偽）基づく幻想的・クリエイティブな美しい世界を描いたりして、公共空間の質を一時的に一変して高めることができる。

→ 市街地におけるイルミネーション

武蔵野市の市街地（駅広におけるイルミネーション

戻る:　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

- 宗教観に限らず、宵闇の中に点される光は、様々な人々に対し、希望や夢、感動を与え導く力がある。クリスマスや新年を迎える人々に、あたたかいイルミネーションは心地よい。

→ クリスマスのイルミネーション

フィレンツェのクリスマス

戻る：　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

ミラノのクリスマス

戻る： イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

https://www.google.com/search?q=Milan+illumination+Christmas

ベネチアのクリスマス

戻る：　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

ドイツ、フランクフルトのクリスマス

戻る： イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

https://www.frankfurt-tourismus.de/en/Discover-Experience/Events/Festivals-in-Frankfurt/Frankfurt-Christmas-Market

- 商業的目的で活用する場合には、集客や賑わいを生み出すことができる。アーティストによる照明デザインや専門的映像技術に基づく、様々な観点に配慮されたイルミネーションは日常を越えて幻想的で美しい。

→ 商業的なイルミネーションの世界

戻る　イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

東京のベスト10クリスマスイルミネーション

戻る：イルミネーションやプロジェクション・マッピング等の特長

- ただ、あまりに色彩に頼ったり、専門性を重視しなかったり、過剰な部分が出てくると、景観や美観を損ねて不快になる場合もある。これは人々の個々の感性や場の設定にも依存する。

→ 過剰なイルミネーション

事業計画に向けて

• 2. 事業計画に向けて

(1)いつ事業をやるか

イルミネーションやイベントは、冬期を中心に、人の往来が乏しい時に、展開されることが多い。もちろん、これに限らず、四季折々が楽しめる日本では、それぞれに美しく楽しいイルミネーションやイベントが開催されている。

→ カーニバルの冬期展開

冬期開催：　ベネチア・カーニバル

Grand Opening del Carnevale di Venezia 2016

Grand Opening del Carnevale di Venezia 2017

戻る:いつ事業をやるか

冬期開催： ヴィアレッジョ・カーニバル

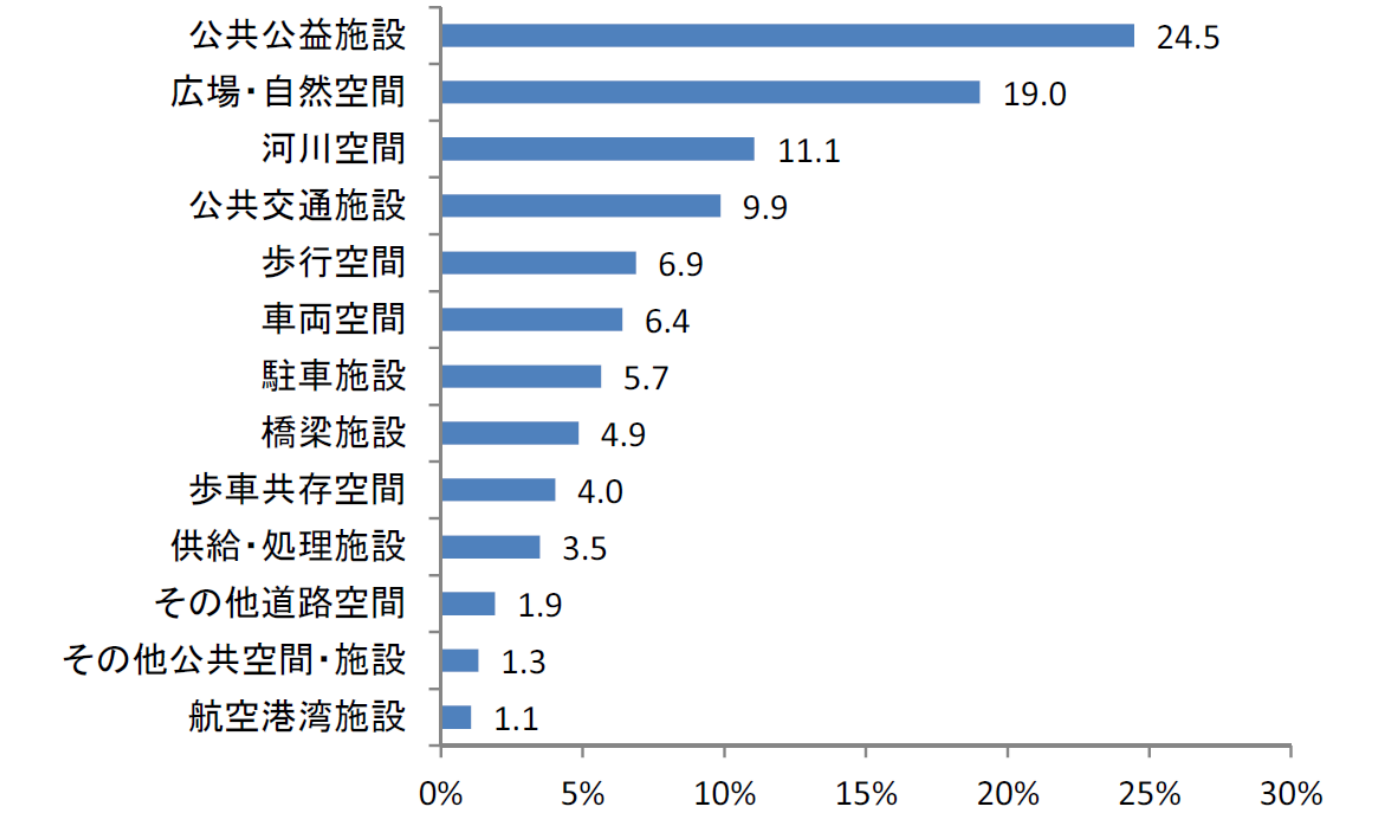
戻る:いつ事業をやるか

（2）どこで事業をやるか

　ランドマークとなる公共建築物や大学の建物、並木道などのストリート（道路）、公園等の樹木等、ある程度景観がコントロールされた場所が望ましい。こうした公共空間を利用する場合には、通常、当該公共空間や公共施設を管理するものの認可が必要となる。

→ 利活用可能な公共空間・施設

利活用可能な公共空間・施設（市区町村）



		回答数	%（回収数）
1	車両空間	319	6.4
2	歩車共存空間	201	4.0
3	歩行空間	343	6.9
4	その他道路空間	95	1.9
5	橋梁施設	242	4.9
6	公共交通施設	492	9.9
7	駐車施設	282	5.7
8	航空港湾施設	53	1.1
9	河川空間	552	11.1
10	広場・自然空間	949	19.0
11	供給・処理施設	174	3.5
12	公共公益施設	1,220	24.5
13	その他公共空間・施設	66	1.3
		4,988	100.0

戻る： 何故事業をやるのか

（3）誰が事業をやるのか

　公共空間を利用したイルミネーションのような事業は、必然的に民間（市民、学生、大学、私企業、コミセン、NPO等）と公共とのコラボレーションになる。大学や企業などの場合は、地域住民や市民全般に対する私的公共空間の時限的な開放を行うことになる。どのようにして、地域住民や市民全般との交流を図ることができるのか。

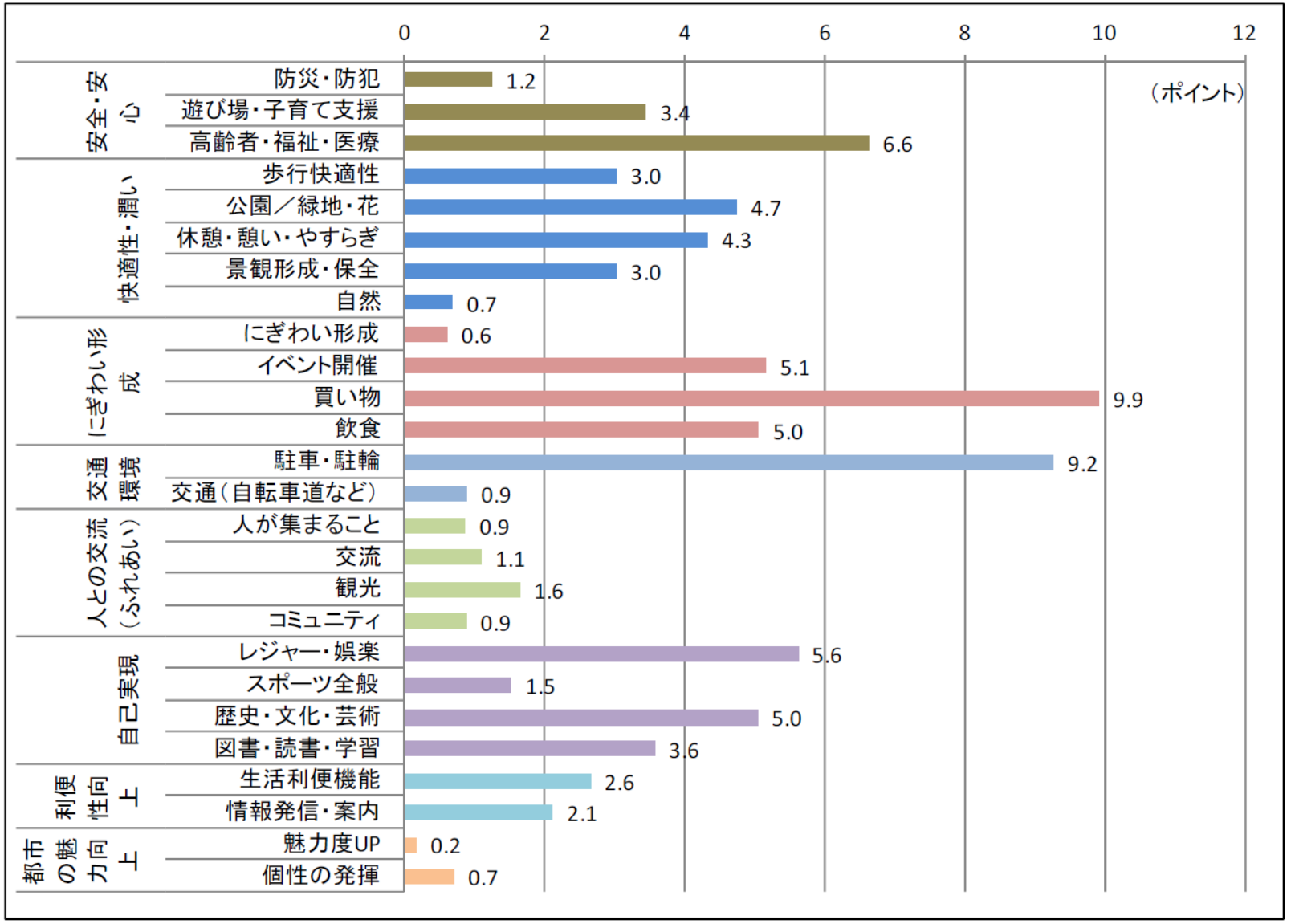
（4）どのような事業をやるのか

いじくりまわして変更することができない、公共空間や施設を活用するために、技術的に最も容易なのはライティングやプロジェクション・マッピング等によるイルミネーション事業であるが、大規模なものは計画に時間、実施にそれなりの費用を要する。小規模なものであれば、イルミネーション事業だけでなく、それをきっかけとした何らかの附随したイベントを同時並行で実施するのが、目的からして効果的な場合がある。どのような公共空間や施設が使えるのか。

→ 公共空間利用へのニーズ

公共空間のニーズ

中心市街地活性化基本計画関連の市民対象アンケート調査の結果から、公共空間に対する市民の利活用に関するニーズを抽出



戻る： どのような事業をやるのか

（5）何故事業をやるのか

　多くの人々に集まってもらい公共空間を活用する楽しみをシェアする。現状を活かすように計画された美しさ（アート）を楽しんでもらう。イベントを通じて交流する。事業やイベントを通じて、事業者の存在や貢献を人々に知ってもらう。地元市民や私企業との交流を深め、地域に貢献する。商業者の場合は集客と売上を増やす。地域のイベントとして根付き、多くの人々に楽しみや安らぎを提供する等々。

（6）どのように事業を実施するのか

イルミネーション等として何ができるのか。イルミネーション事業としてはどのようなものを実施するのか。自然な美しさを求めるのか、人為的な美しさを求めるのか。イルミネーション事業の中で、同時にランドマークを用いてプロジェクション・マッピングをやるのが効果的。例えばストリートや並木の美しいイルミネーションに公園や建物を用いた拠点的な（複数拠点でもOK）プロジェクション・マッピングを実施する等。小さなイベントを複数拠点で設けてもよい。

プロジェクション・マッピングは、人々の関心や注目を誘う。広大で本質的なテーマを掲げ、状況に応じて、アート性や教育的なもの、楽しいものとする。

(6)どのように事業を実施するのか(続き)

プロジェクション・マッピングが出来なくても、イルミネートされたギャラリー、市民との交流の場を設けるなど、様々なイベントを拠点的、分散的に設けて運営することもできる。

さらに、五感にうったえる事業を展開することは効果的である。視(イルミネーション、プロジェクション・マッピング、映像、映画、ビデオ、絵画や彫刻などのアートとの組み合わせ)・聴(音楽、サウンド)・嗅(自然の香り、花、アロマ等)・味(屋台、試食イベント)・触(買い物、ペット、人形等)の五つの感覚にうったえる。逆に、どのようなイベントをやるにしても、視覚に最大限にうったえるイルミネーションを含めた五感を同時に刺激することは、大きな効果をもたらす。

→ 大学の事業例

ライトアップイベント「光の庭　2018　暮れ」

　実践女子大学は、生活科学部生活環境学科建築デザイン研究室の学生達が考え、作り上げたアイデアでキャンパス内を照らすライトアップイベント「光の庭2018暮れ」を12月21日（金）22日（土）に開催。

　「光の庭2018」は、2016年に開催された「光の庭」が進化し、日常とは異なる「光の空間」を体感できるライトアップイベント。建築デザインやまちづくりを専攻する生活環境学科　建築デザイン研究室で学ぶ3、4年生約20名が中心となって企画したもので、まるで「光の中を歩くような気分」を味わうことができる。

　使用される照明は、木材で作られたシンプルな構造体の櫓（やぐら）と1枚のトレーシーングペーパーでLED電球を包みこんだもの。紙から作られた照明「灯りのイエ」約250個をキャンパス内に散りばめることによって、静かで美しい灯りの空間を出現させる。

　昨年に引き続き、寒い季節にぴったりのホットレモネードや実践女子大学がプロデュースした「さくらスコーン」も販売（味覚）。そして、12月21日（金）は管弦楽アンサンブル、22日（土）にはJAZZ DJも実施（聴覚）。無数の「灯りのイエ」が創り出すあたたかみのある光群と、美しい音色が響き合う贅沢なひと時を楽しむ機会。

戻る:どのように事業を実施するのか

ー2018 暮れー

2018.12.21.Fri/22.Sat
17:00～20:00

会場：実践女子大学　日野キャンパス

入場無料

学内の駐車場は利用できません。
徒歩や自転車でのご来場をお願いいたします。

主催：実践女子大学ライトアップイベント実行委員会
企画・演出：空間時間
空間デザイン：高田典夫＋実践女子大学生活環境学科建築デザイン研究室
後援：日野市／日野宿通り『にぎわいのあるまちづくり』プロジェクト
協力：日本建築家協会　関東甲信越支部　空間ワークショップフォーラム

21 日

ごはん（copain= 仲間たち，竜通大学の一部）が集まった、光の庭限定のアンサンブルメンバーです。
2 回目の出演となる今回は、この季節にぴったりの曲目をお贈りします。
“光 × 音楽 × 季節感” のひとときをお楽しみください。
17:20－/18:20－/19:20－

22 日

DJ wtnb

10 代後半より DJ を始め、少しでも多くの音源に触れようと Not レアな安レコードを中心に蒐集。
ピアノトリオやビッグバンドの JAZZ から近年では世界の端の音楽まで、幅広く、探せば買えるネタで紡ぎ出す GROOVE に定評あり。
18:30－19:30

Food

HOT Lemonade Stand

自家製のホットレモネードと日野市で人気のケーキ屋さん、PATISSERIE LUPIN のさくらスコーンの販売をいたします。
レモネードとスコーンを味わいながら、ゆったりとお過ごしください。

21 日（金）/22 日（土）

Workshop

光のイエを作ってみよう！

光の庭で飾られている光のイエを、実際に作ってみよう。
1 枚の紙でどうやって作られているのか覗けるワークショップです。

¥100 円
21 日（金）/22 日（土）
両日限定先着 30 名

Staff

実践女子大学
建築デザイン研究室

“IMAGINATION から CREATION へ”

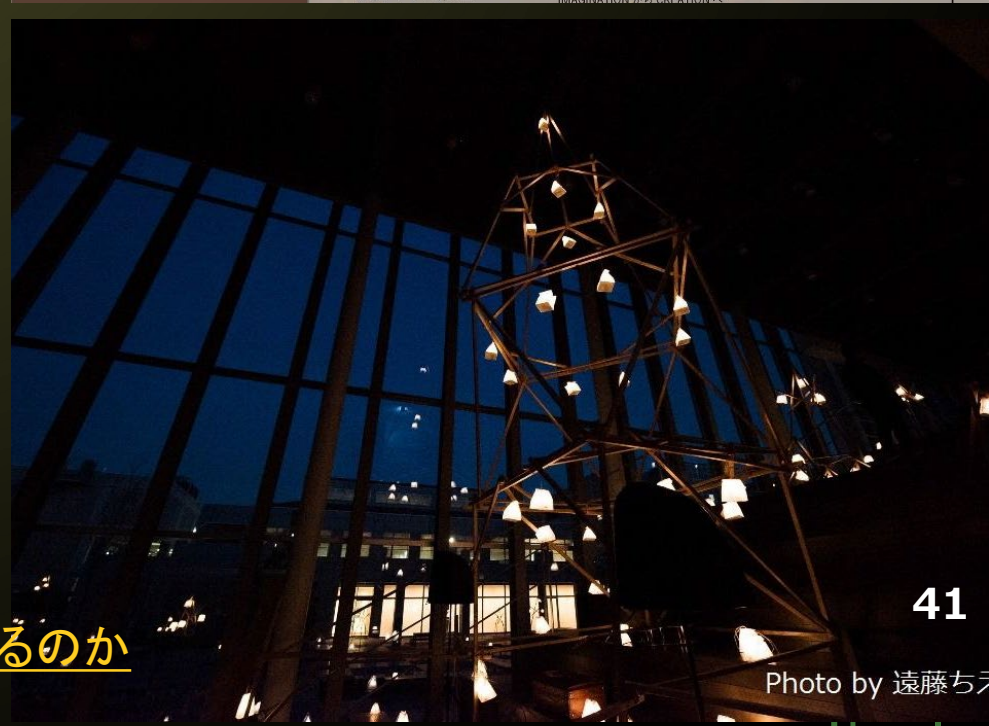


Photo by 遠藤ち

戻る：どのように事業を実施するのか

お疲れ様でした。
参考にしてください。

おわり

NPO
市民まちづくり会議・むさしの

http://matimati.or.jp/